

Title	日本海軍創設過程に関する研究
Sub Title	Research on the establishment process of Japanese Navy
Author	小川原, 正道(Ogawara, Masamichi)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2023
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2022.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>日本海軍の創設過程で大きな役割を果たした初代海軍大臣・西郷従道の伝記執筆を目指し、西郷が記した書簡を翻刻、分析することをもって、主な研究内容とした。本研究で翻刻・分析することを得た西郷の書簡は、国立国会図書館憲政資料室所蔵・寄託の以下の各文書に収録されている。「石黒忠恵関係文書」「岩下方平関係文書」「上野景範関係文書」「大久保利謙旧蔵文書」「大山巖関係文書」「樺山資紀関係文書」「川上操六関係文書」「黒田清隆関係文書」「憲政史編纂会収集文書」「憲政資料室収集文書」「五代友厚関係文書」「品川弥二郎関係文書」「柴山矢八関係文書」「龍野周一郎関係文書」「谷干城関係文書」「得能良介関係文書」「長崎省吾関係文書」「西周関係文書」「花房義質関係文書」「前田正名関係文書」「松方正義関係文書」「三島通庸関係文書」「三島弥太郎関係文書」「宮島誠一郎関係文書」「吉井友実関係文書」。これにより、現存する西郷書簡のほとんどを翻刻・分析できた。日本海軍に関わる事項について若干の紹介すると、日清戦争下の明治27年9月27日付で西郷が井上馨内相に宛てた書簡では、冒頭で「平壤之慶戦二引続テ又海軍之大勝、実ニ為邦家大頌畜ナラス奉存候」と述べた上で、戦地の治安維持のために巡查を雇用する予算編成を提案したとして、警視庁に巡查を派遣するよう命じてほしいと依頼している。同年11月7日付の井上宛書簡では、日本艦艇を破壊しようとしたアメリカのダイナマイト会社の社員を海軍側で捕らえたと伝え、野村靖内相から巡查派遣の協力を取り付けるべく協力を依頼している。海軍を統率しながら、戦争を広い視野から捉えていたことを伝える資料であり、西郷の軍人・政治家としての適性をうかがわせる。本研究で収集・分析した資料からは、海軍関係を含め、西郷の政治・軍事活動や私生活についてつづさに知ることにでき、その成果を生かして、西郷の伝記執筆を進めていきたい。</p> <p>To write a biography of Judo Saigo who had served first Minister of Navy in Japan and led establishment of Japanese Navy, I have reprinted and analyzed a lot of letters written by Judo. The Letters are owned or deposited in many papers at Modern Japanese Political History Materials Room, National Diet Library. I could reprint and analyze most of them and unraveled the early days of Japanese Navy. Especially, Judo told Kaoru Inoue that Japanese Navy destroyed Chinese Navy and budget for the maintenance of order in the front under the Sino-Japanese War. Judo had wide view as a statesman. I would like to write a biography of Judo using these results.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2022000010-20220060

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	法学部	職名	教授	補助額	300 (A) 千円
	氏名	小川原 正道	氏名 (英語)	Masamichi Ogawara		
研究課題 (日本語)						
日本海軍創設過程に関する研究						
研究課題 (英訳)						
Research on the establishment process of Japanese Navy						
1. 研究成果実績の概要						
<p>日本海軍の創設過程で大きな役割を果たした初代海軍大臣・西郷従道の伝記執筆を目指し、西郷が記した書簡を翻刻、分析することをもって、主な研究内容とした。本研究で翻刻・分析することを得た西郷の書簡は、国立国会図書館憲政資料室所蔵・寄託の以下の各文書に収録されている。「石黒忠憲関係文書」「岩下方平関係文書」「上野景範関係文書」「大久保利謙旧蔵文書」「大山巖関係文書」「樺山資紀関係文書」「川上操六関係文書」「黒田清隆関係文書」「憲政史編纂会収集文書」「憲政資料室収集文書」「五代友厚関係文書」「品川弥二郎関係文書」「柴山矢八関係文書」「龍野周一郎関係文書」「谷干城関係文書」「得能良介関係文書」「長崎省吾関係文書」「西周関係文書」「花房義質関係文書」「前田正名関係文書」「松方正義関係文書」「三島通庸関係文書」「三島弥太郎関係文書」「宮島誠一郎関係文書」「吉井友実関係文書」。これにより、現存する西郷書簡のほとんどを翻刻・分析できた。日本海軍に関わる事項について若干の紹介すると、日清戦争下の明治27年9月27日付で西郷が井上馨内相に宛てた書簡では、冒頭で「平壤之鏖戦二引続テ又海軍之大勝、実ニ為邦家大頌壺ナラス奉存候」と述べた上で、戦地の治安維持のために巡査を雇用する予算編成を提案したとして、警視庁に巡査を派遣するよう命じてほしいと依頼している。同年11月7日付の井上宛書簡では、日本艦艇を破壊しようとしたアメリカのダイナマイト会社の社員を海軍側で捕らえたと伝え、野村靖内相から巡査派遣の協力を取り付けるべく協力を依頼している。海軍を統率しながら、戦争を広い視野から捉えていたことを伝える資料であり、西郷の軍人・政治家としての適性をうかがわせる。本研究で収集・分析した資料からは、海軍関係を含め、西郷の政治・軍事活動や私生活についてつづさに知ることのでき、その成果を生かして、西郷の伝記執筆を進めていきたい。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>To write a biography of Judo Saigo who had served first Minister of Navy in Japan and led establishment of Japanese Navy, I have reprinted and analyzed a lot of letters written by Judo. The Letters are owned or deposited in many papers at Modern Japanese Political History Materials Room, National Diet Library. I could reprint and analyze most of them and unraveled the early days of Japanese Navy. Especially, Judo told Kaoru Inoue that Japanese Navy destroyed Chinese Navy and budget for the maintenance of order in the front under the Sino-Japanese War. Judo had wide view as a statesman. I would like to write a biography of Judo using these results.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			